

# アイヌの人々が鮭の全てを捨てずに使う事実から アイヌの人々の自然と共存する姿にせまる授業

小 学 校 第4学年

単 元 名 「アイヌの人たちの生活と文化」

札幌市立円山小学校 教諭 宇野 太士

## 【1】単元のねらい

2014年6月13日に「アイヌ文化の復興などを促進するための『民族共生の象徴となる空間』の整備及び管理運営に関する基本方針」が閣議決定された。近年、日本列島北部周辺、とりわけ北海道において言語・宗教・文化の独自性を有する先住民族としてのアイヌの人々に対する政策の推進が見られる。これは、アイヌ民族を次世代へ継承していくことが、多様な価値観が共生し、活力ある社会を形成する共生社会の実現につながるからである。

本單元においては、北海道の先住民族アイヌの人たちが築いてきた歴史や文化について、アイヌ教育相談員光野さんの指導による体験活動や、アイヌ民族に関する資料を用いたりして調べ考える活動を通して、自然の中に生きる知恵を明らかにし、現在の自分たちの生活とのつながりに気付くようにする。本時では「食」にスポットを当て、子どもたちの生活とのつながりを見いだしたい。

## 【2】単元構成（6時間扱い）

<p>1 ○札幌の大昔の生活は…？</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             今 194万人が 住む札幌         </div> <div style="font-size: 2em;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             107年前 7万人が 住む札幌         </div> <div style="font-size: 2em;">→</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             大昔 熊や鹿 アイヌの 人たち         </div> </div> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">北海道の大昔の様子を調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然がいっぱい</li> <li>・川のそばに村</li> <li>・港もあるよ</li> <li>・ラッコやトナカイはアイヌ語なんだね</li> <li>・カムイチェブ(鮭)は神様の贈り物だって</li> </ul> <p>2 アイヌの人たちが和人より先にくらしていた！</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">地名に注目してみると…</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>北海道は もちろん…</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>東北や… ・地名になるほど</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>千島列島、 サハリンまで！</p> </div> </div> <p>・アイヌ語の地名は日本の北側に多いね</p> <p>アイヌの人たちは昔から住んでいたんだね</p> <p>・アイヌの人たちははどんな生活をしてきたのかな？</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">地名になる程アイヌ語は昔から使われている！</p> <p>3 ○光野さんと一緒にアイヌの子どもたちの遊びを体験しよう</p> <p>4 道具は自分で作って遊んだよ</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;">             ウコ・カリブ・チュイ(投げ輪突き) ウコ・カリ・カチュ(けん玉遊び) ク・エ・シソソ(弓でする遊び)         </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しいけれど難しい！</li> <li>・どちらも「突く」遊びだね</li> </ul>	<p>5 アイヌの子どもはどのように遊ぶ？</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">             ・狩りや漁の練習 ・子どものうちに生きるため         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;">             ・作る技術を習得 ・自然の物を生かす道具         </div> </div> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">狩りや漁を学ぶ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> <span>やり方</span> <span>道具作り</span> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center; margin-top: 5px;">             狩り・漁に生きる技と知恵を身につけながら遊ぶ！         </div> <p>○子どものうちから訓練をしないと取れない食べ物に、サケがあるよ。</p> <p style="text-align: center;">○とったサケは、どのように使うのだろう</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>身 頭 筋子 内臓 骨</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>全て使う！ 皮は皮靴にも！</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center; margin-top: 5px;">             アイヌの人たちはどうしてサケの全てを使う？         </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 30%;"> <b>【生きる】</b> ・漁は難しい ・いつもとれるとは限らない         </div> <div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">今年も これから</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 30%;"> <b>【信じる】</b> ・神様に、もったいないことはできない ・捨てるで神様が怒って、とれなくなる         </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center; margin-top: 5px;">             未来のことも考えて、自然を大切にしているから！         </div>
---	---

### 【3】本時の目標

昔のアイヌの人々がサケの全てを使い切る理由を考えるを通して、アイヌの人々が自然と共存していくことを考えて生活していたことに気づき、適切に表現することができる。【思考・判断・表現】

### 【4】本時の展開(6/6)

子どもの思考・学習活動	教師のかかわり
<p>&lt;前時まで&gt;            子どもの頃から遊びを通して、自然の物を使って自分で道具を作ったり、狩りや漁の技術を鍛えたりしなければ、食料の確保が難しい、アイヌの人たちの生活の厳しさについて理解している。また、狩りや漁のために必要な動き(突く・射る)そのものの難しさも、アイヌの子どもの遊び体験を通して、感覚的に理解している。</p> <p>○遊びを通して子どもの頃から鍛えておかないと、とれない食べ物にサケがあるよ。</p> <p>とったサケ、どう使う？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・焼き魚…？いくらご飯</li> <li>・内臓や骨は…捨てる？</li> <li>・身は鍋かな…。</li> </ul> <p>身 内臓 骨 頭 皮  <b>全て工夫して食べる</b></p> <p>えっ？内臓や骨まで？            ・家では、魚の内臓は捨てていたよ。            ・皮を食べる以外に使うのはびっくり！</p> <p>皮は、靴にも！</p> <p>アイヌの人たちは、どうしてサケの全てを使う？</p> <p><b>今年も！</b></p> <p><b>【生きる】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・難しい漁</li> <li>・とれないときも… 漁の失敗で 季節によって</li> <li>・無駄遣いできない 1日2食 もったいない 今ほど余裕がない</li> </ul> <p><b>自然の中で生きる</b></p> <p><b>【信じる】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生き物は神様 食べ物をいただく=感謝 神様を捨てる=失礼</li> <li>・捨てると怒る バチが当たる もう人間のところに 来ないかも…</li> </ul> <p><b>これから！</b></p> <p>先のことも考えて、自然を大切にしているから！</p> <p>■アイヌ教育相談員光野さんからの話</p> <p>生き物は、神様が肉や皮をもって人の世界に来てくれた姿、と考えていました。だから、全て使うことが神様への最高の礼儀だったのです。</p> <p>○アイヌの人たちが生きる世界に、無駄なものは何一つ、ないんだね。</p>	<p>教師のかかわり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苦労してとったサケの使い方について、予想を発表し、「全てを使う」という事実、子どもの意識を焦点化していく。</li> <li>・狩猟生活の時代は現代ほど食料にゆとりはない。そのため、サケの全てが命をつなぐ食料になりえたこと、カムイチェブ(=サケ、神の贈り物)を無駄にしないことが取りすぎを防ぎ、結果としてサケとアイヌの人々の未来も守られること(持続可能性)を板書で整理する。</li> <li>・光野さんからお話を頂き、子どもたちが本時で学んだこと生かしてその理由を考えるよう促す。</li> </ul>

### 【5】実践を行う上でのポイント

鮭皮の靴は、光野さんを通してサッポロピリカコタンから借りられる。また、前時までに光野さんにゲストティーチャーを依頼し、アイヌの遊びの体験活動をさせてもらおうと、本時で子どもが狩り・漁に対する思いが深めやすい。